

I

「継続独身」と「若年独身」・「若年無子家族」の実態と意識

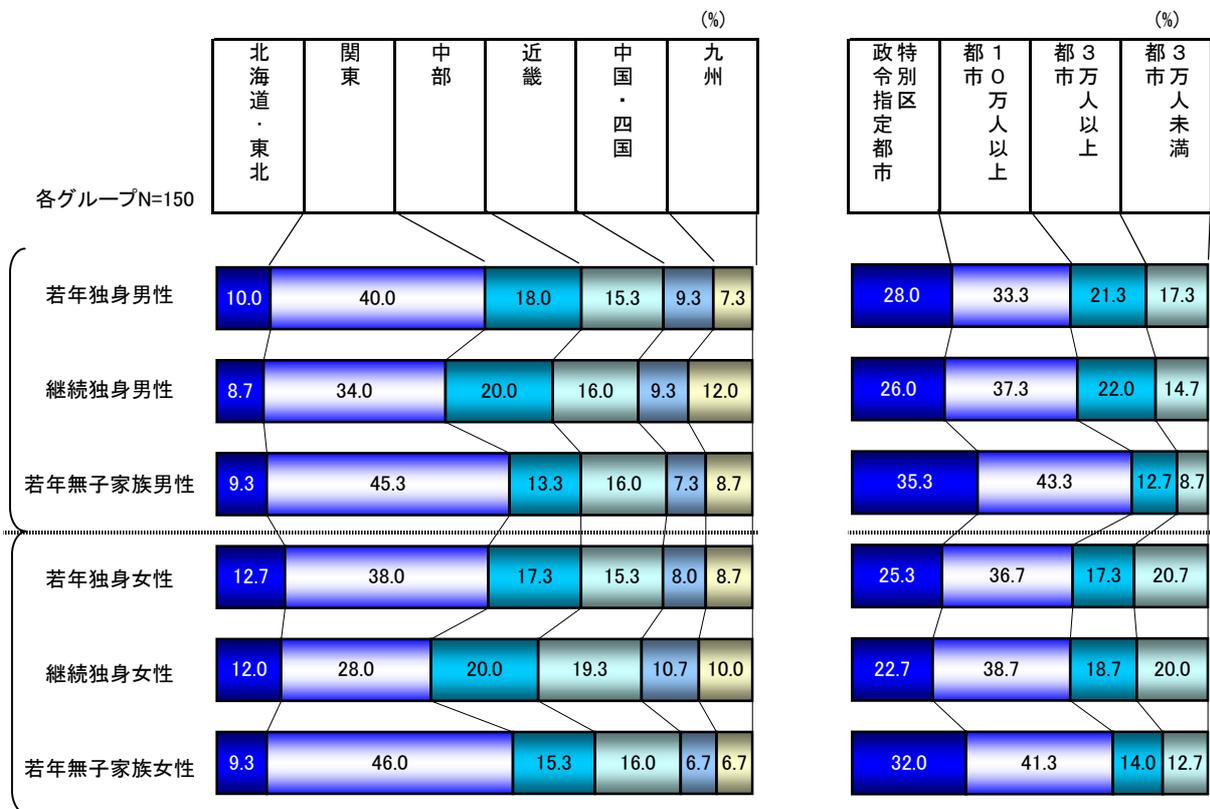
1. 回答者基本属性

1-1. 居住地域

回答者の居住地域は、どのグループも「関東」が最も多く、3～4割強を占め、「中部」と「近畿」が1割強から2割前後となっている。

都市規模別の分布を見ると、男女とも【若年無子家族】では「特別区政令指定都市」「10万人以上都市」の居住者が他グループに比べて多い。

図表1-1. 居住地域(単数回答)(基数:全体)



1-2. 年齢および結婚経験((Q1,FS1)

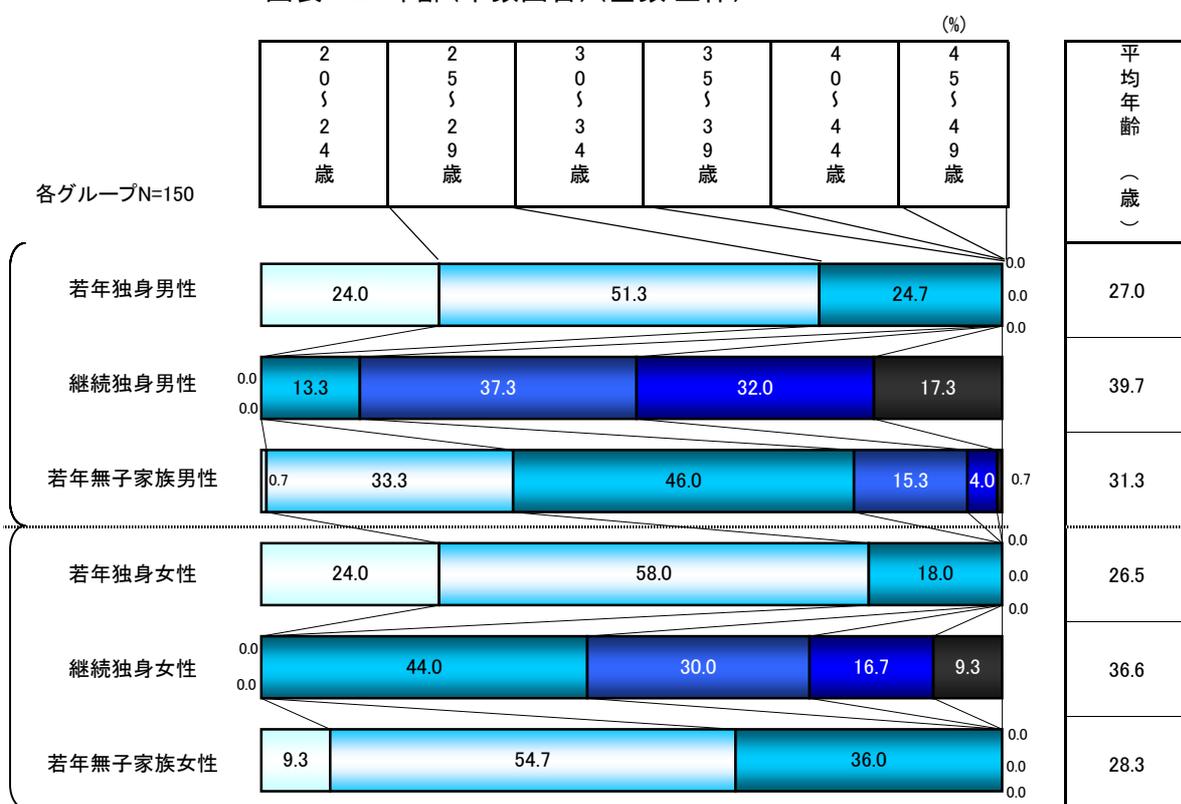
【男性】

【若年独身】は20代後半が半数以上(51.3%)を占めるが、【継続独身】は30代後半から40代前半が中心である(35～39歳:37.3%、40～44歳:32.0%)。また【若年無子家族】は30代前半が半数近く(46.0%)を占めており、【若年独身】に比べてやや平均年齢が高い。

【女性】

【若年独身】は20代後半が6割近く(58.0%)を占めるが、【継続独身】は30代が7割以上を占めている(30～34歳:44.0%、35～39歳:30.0%)。また【若年無子家族】は20代後半が54.7%、30代前半が36.0%となっている。

図表1-2. 年齢(単数回答)(基数:全体)



図表1-1-3. 結婚経験(単数回答)(基数:全体)

各グループN=150	結婚未経験		経験あり	
	あ 結 婚 予 定	予 定 な し	離 別	死 別
若年独身男性	4.7	95.3	0.0	0.0
継続独身男性	4.7	82.0	10.7	2.7
若年独身女性	4.7	95.3	0.0	0.0
継続独身女性	4.0	74.7	18.0	3.3

1-3. 住居形態(FS6)

男女とも【若年独身】及び【継続独身】は7～8割が持ち家居住者であるのに対し、【若年無子家族】では持ち家率は4割弱であり、半数程度が「賃貸集合住宅」居住者である。

1-4. 学歴(FS3)

大卒・大学院卒比率が最も高いのは、【若年無子家族】の男性で42.7%となっている。

一方、【若年無子家族】及び【継続独身】の女性の大卒・大学院卒比率は、いずれも2割程度にとどまる。

図表1-3. 住居形態(単数回答)(基数:全体)

図表1-4. 最終学歴(単数回答)

